

Partner

[パートナー]

Vol.14

2024.MAR

— 各診療科の医師が専門分野を伝える —

・緩和ケア科部長・

中山 弘道

より良い終末期・緩和ケアのために
正確な情報を伝える



・口腔外科部長・

水沼 秀之

総合病院の口腔外科として
手術・入院治療に対応



紹介患者さんの受診方法について

紹介状持参患者さん 予約取得フロー

各科緊急連絡先

小山記念病院では、地域の医療機関との連携を充実するために地域医療連携室を設置しており、他の医療機関からの紹介患者さんの対応、患者さんのお住いの近隣の医療機関への逆紹介を行っています。当院へご紹介の際は、患者さんに紹介状をご持参いただいた際の受診を推奨しておりますので、ご協力をお願いいたします。診療の経過や状況等の詳細は14日以内に担当医よりご報告をいたします。別途の追加の詳細をご希望される場合は、個別にご連絡ください。

医療機関より、下記にご連絡いただければ、
地域医療連携室にて事前予約をお取りします。
「受診予約申込書」と「診療情報提供書」(様式は問いません)を
事前にFAXをお願いいたします。

《地域医療連携室直通 医療機関専用ダイヤル》
TEL. 直通① 080-3249-8519 直通② 080-3249-8529
FAX. 0299-88-2211

予約なしで直接ご来院された際は、状況により当日診察をお受けできず、翌日以降のご予約をお取りさせていただく場合があります。

- 医療機関より地域医療連携室直通ダイヤルに、連絡をお願いします。

受付時間	月曜日～金曜日	9:00～17:00
	土曜日	9:00～12:00
- 受診予約申込書と紹介状をFAXで送信してください。
FAX. 0299-88-2211 (地域医療連携室直通)
※ FAX受信は24時間受付可能ですが、受付時間外の場合、予約取得は翌営業日の返信となります。
- 折り返し地域医療連携室より紹介元医療機関へご連絡をいたします。
 ・予約を取得し診療予約票をFAXにて送信します。(できる限り15分以内にご連絡します)
※診療科によっては、医師の確認が必要なため時間がかかる場合があります。
- 予約日に、診察予約票と紹介状原本をご持参いただき、
11番「紹介状窓口」にご来院していただきますよう、
 ご案内をお願いいたします。

- 患者さん自身で予約取得
- 紹介状原本をお渡しいただき、
紹介状予約患者さん専用ダイヤルのご案内をお願いします。
- | | | |
|------|---------|------------|
| 受付時間 | 月曜日～金曜日 | 9:00～17:00 |
| | 土曜日 | 9:00～12:00 |
- TEL. 0299-88-2233 (紹介状予約患者さん専用ダイヤル)

緊急の場合は、下記の医療機関専用ダイヤルへご連絡ください。

- ・脳神経外科ホットライン 080-8815-5322 (24時間対応)
 - ・循環器科ホットライン 080-1078-6668 (24時間対応)
 - ・整形外科ホットライン 080-9159-6089 (月～土/8:00～20:00 迄) 日・祝を除く
 - ・上記以外の診療科 0299-85-1133 (地域医療連携室直通)※
- ※月～金/9:00～16:00、土/9:00～11:00 日・祝を除く





● 口腔外科部長 ●
水沼 秀之

歯学博士 (口腔外科)
歯科医師臨床研修指導医
(公社) 日本口腔外科学会 会員
(公社) 日本顎顔面インプラント学会 会員

ピックアップドクター

Pick up Dr.

各診療科の医師が専門分野を伝える



● 緩和ケア科部長 ●
中山 弘道

副院長
医療連携部部长 / がん診療統括室室長
日本外科学会外科専門医
緩和ケア指導者研修会終了



● より良い終末期・緩和ケアのために 正確な情報を伝える

「緩和ケア (palliative care) とは、生命を脅かす疾患による問題に直面している患者及びその家族の QOL (Quality of life、生活・人生の質) を改善するアプローチである」と定義されており、当科では、がんに特化しているため、全ての担がん患者に門戸を開いており、一般の心不全や老衰、その他の疾患には、対応しておりません。

🔗 初診時に話すこと

今回は、緩和ケア初診時に患者さん・ご家族にお話しする内容を紹介させていただきます。

一般論として、終末期の担がん状態の患者さんは、心筋梗塞、脳卒中、DIC (播種性血管内凝固症候群)、出血等々のリスクが高く、急変することも珍しくないため、急変時の覚悟が必要となつてきます。

もちろん心臓停止に至っていない場合は、当然のことながらそれらの治療は、可能であれば適切に行われますが、最終末期にあたり突然予期せぬ (ご家族にとって) 状態で心臓停止に陥ってしまった場合、心肺蘇生という医療行為を施行しないことが、医学的にも社会的にもコンセンサスを得てきております。心肺蘇生をしないと意

思決定することを DNR (心肺蘇生拒否)と呼んでおります。

突然死は、患者さん本人にとっては長い苦痛を伴うものではありませんが、ご家族にとってはパニックを起こしてしまう案件であるため、十分に覚悟しておく必要があります。

🔗 残された時間を有意義に

当科では、終末期のがん患者が死に至るケースは次の4ケースに分類しております。

- 1 突然死を含む比較的短期間にお別れとなるケース (安楽死とは違います)
- 2 全身状態の低下とともに自然と食欲が低下、傾眠傾向となり亡くなるケース (ある意味理想的)
- 3 がんの進行とともにオピオイド量等が増加し症状緩和が得られるケースとさらに鎮静化が必要となるケース
- 4 緩和不十分で亡くなるケース (薬剤抵抗性もしくはご自身の意志にて、十分な緩和がなされず亡くなるケース。加えて症状の進行が急速で緩和をもたらず

オピオイド鎮静剤の増量が追い付かないで亡くなるケース等)

DNR に関しては、患者さん・ご家族に具体例をもって説明いたします。前記のお看取りとなる4ケースのお話は、ご家族には必ず聞いていただきますが、患者さん御自身には話を聞か否かを選択していただいております。約半数の患者さんが話を聞く選択をされております。

なぜ、このような話を初診時にするのかと疑問に思われる方もいらっしゃると思いますが、緩和ケアに来る患者さん及びご家族とは、最後の旅立ちまでお付き合いさせていただくことになるため、残された時間を有意義に過ごしていただくために必要なことと思っております。より良い終末期、緩和ケアを受けていただくためには、正確な情報を知っていただくとともに、患者さんご家族の覚悟も必要となつてきます。もちろんそれにかかわるすべての医療従事者の患者さん、ご家族に対する寄り添う気持ちが必要不可欠です。

最も大事なことは、患者さんに可能な限り苦痛を感じさせないで、最期を迎えていただくことだと思っております。

🔗 口腔外科の予約・外来の状況

2021年1月より口腔外科の診療体制は歯科医師1名、診療台1台です。

現在、電話予約は予約1か月前となります。その後の外来処置、オビ症例は約2か月待ちの状態です。

外来診療は月曜日、火曜日、木曜日のAM、第一、第三金曜AM、PM、土曜日AMとなります。午前中はオビのため外来不在となります。

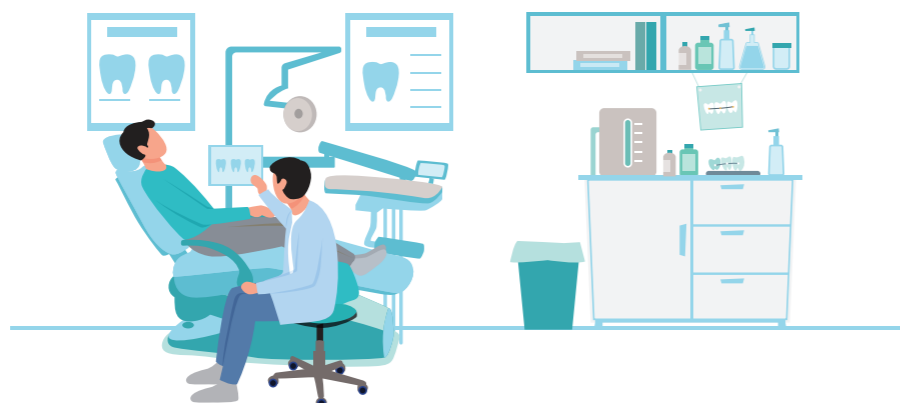
休診日は水曜日、日曜日、土曜PMです。

- 小児の診療、歯科矯正治療目的の抜歯は行っておりません (全身麻酔下での処置を除く)。
- 歯科インプラント治療、う蝕、歯周病、義歯等の一般歯科診療は行いません。

🔗 当科対象疾患

● 埋伏歯抜歯、智歯抜歯
● 合併症患者様 (いわゆる有病者) の処置 (抜歯外科処置のみ歯科治療は行いません)
● 口腔粘膜疾患 (口内炎、口腔扁平苔癬、白板症等)
● 顎関節疾患 (顎関節症)
● 嚢胞性疾患 (顎骨嚢胞、粘液貯留嚢胞)
● 口腔腫瘍 (悪性は診断のみ)

* 緊急性のある場合はご連絡ください (ただし診療時間内に限る)。
顔面外傷、口腔外傷、重症菌性感染症等は連携関連施設へ紹介となります。
ご不便おかけいたしますがよろしくお願いいたします。



● 総合病院の口腔外科として手術・入院治療に対応